

第2回 尻別川減災対策委員会 議事概要

日時：平成28年8月2日（火） 13:30～15:00

会場：蘭越町役場 3F 会議室

委員：7名

小樽開発建設部長、札幌管区气象台気象防災部長（代理）、後志総合振興局長（代理）、蘭越町長、北海道電力（株）倶知安水力センター所長（代理）、陸上自衛隊北部方面対舟艇対戦車隊長（代理）、倶知安警察署長

<議事内容>

- ・ 第1回 尻別川減災対策委員会・幹事会の協議内容について確認
- ・ 想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図の公表について話題提供
- ・ 現状の水害リスク情報や取組状況の共有
- ・ 尻別川の減災に関する取組方針、概ね5年で実施する取組項目について確認

<主な意見>

蘭越町)

- ・ 関係機関と連携することにより、初めて防災計画というものになると思う。
- ・ 出水時対応と合わせて、洪水がいかに起きないようにするのが大切である。
- ・ 消防団の防災訓練、実技訓練を毎年行っているが、若い人が少なく、人数も少なくなってきた。
- ・ 蘭越町も洪水時の対応は建設業者に協力してもらっているが、公共事業も含め仕事量が減ってきているので、災害対応の体制を維持するのも難しい。
- ・ 洪水と津波が同時に起こることも考えられる。

倶知安警察署)

- ・ 倶知安町から蘭越町まで約50分程度かかり、避難誘導の初動対応は蘭越町の駐在所の4人で行うことになると思う。そのため、町と警察でどのような情報共有を図るべきか等、早急にガイドラインの整理を行うべきである。
- ・ いざ、発生した時にどのように行動すべきか分からない。タイムラインを活用した訓練については、10月までの間に一度内容を詰めて、実施すべきではないだろうか。